

ノーベル賞受賞者赤崎勇氏に 南九州市名誉市民の称号を!!

~~~南九州市が発足してから初めての名誉市民~~~



赤崎勇氏は南九州市知覧のご出身で、高輝度青色発光ダイオード（青色LED）を世界で初めて開発し、実用化の道を開きました。その功績が認められ、2014年ノーベル物理学賞を受賞しました。このことは、本市にとってもたいへん誇りであり、本市の名誉を高め市民に大きな希望と自信を与えました。



**南九州市名誉市民条例**  
第1条 この条例は、社会文化の興隆に功績が顕著であつた者に対し、その功績と栄誉を称え、もつて市民の社会文化興隆に対する意欲の高揚を図ることを目的とする。

第2条 市民又は本市に縁故の深い者で、広く社会文化の興隆に寄与し、市民が郷土の誇りとし、かつ、深く尊敬に値すると認められたものに対しては、この条例の定めるところにより南九州市名誉市民の称号を贈る。



## 全員協議会

◎ひまわりバスの運行計画の変更について（平成26年12月12日）

平成23年度から25年度までの運行実績によると、生活交通バスにおいては、どの地域でも年々減少し、拠点間バスにおいては増加している。

また、頤娃高校・川辺高校の通学バス等の要望もあり、平成27年4月1日からの運行計画の変更について当局から説明があった。

### 追加運行

「拠点間バス 頤娃川辺線」  
（往路）青戸 6時45分発

川辺文化会館 7時19分発  
（復路）川辺文化会館 7時30分発

頤娃図書館 8時19分発



ひまわりバス

## 議員定数を22人から20人へ

南九州市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について

### ◎委員会での意見

**18人**  
・想像を超える速さで人口が減少している、今の人口減少の速さでいけば18人であり、地域代表という考えからは脱却すべき、人口規模からすると18人であり

**20人**  
・予算規模や審査権、チェック機能を考えると類似団体の状況を見て20人であり、行政改革を進めるには、議会自らが模範を示すべきである

**22人**  
・合併前の旧3町の総議員定数からすると、現在は22人と大幅に減少している、十分に経費は削減されている、委員会の討議の適正な人数を7人と考える、22人が適当である

### 類似市の状況（26年1月末現在）

| 類似市    | 議員定数 | 人口（人）  | 議員1人当人口（人） | 面積（km <sup>2</sup> ） | 議員1人当面積（km <sup>2</sup> ） |
|--------|------|--------|------------|----------------------|---------------------------|
| 南さつま市  | 20   | 37,410 | 1,871      | 283.37               | 14.16                     |
| 指宿市    | 20   | 43,872 | 2,194      | 149.01               | 7.45                      |
| 日置市    | 22   | 50,735 | 2,306      | 253.06               | 11.50                     |
| 曾於市    | 20   | 39,254 | 1,963      | 390.39               | 19.51                     |
| 本市（現在） | 22   | 38,459 | 1,748      | 357.85               | 16.26                     |
| 本市（次回） | 20   |        | 1,923      |                      | 17.89                     |

南九州市議会議員定数等調査特別委員会の決定に基づき、12月定例会において、議員定数を次の一般選挙から20人とするため、南九州市議会議員定数条例の一部を改正する条例が可決されました。

## 議会を 傍聴してみませんか。

次の議会は **2月19日（木）** 開会予定

“手続き簡単”本館2階で住所・氏名を書くだけ



### 3月定例会

- 2月12日 議会運営委員会
- 2月19日 本会議（施政方針、当初予算上程、委員会付託）
- 2月24日 議会運営委員会
- 2月25日 常任委員会（補正予算審査）
- 3月5日 本会議（補正採決、委員会付託、一般質問）
- 3月6日 本会議（一般質問）
- 3月9日 本会議（一般質問）
- 3月10日～16日 常任委員会（当初予算審査）
- 3月20日 本会議（当初予算採決）